

ミニレター
あぜみち通信

* * * * *

令和元年6月1日
第222号

編集・発行：(一社)愛知県農業会議

◎ 令和元年春の叙勲で農業委員会関係者が受章されました

令和元年春の叙勲で、今村 勉氏（新城市）が旭日単光章を受章されました。

今村氏は、新城市農業委員会会長、愛知県農業会議常任会議員、新城市土地改良区理事長などの要職を務められ、愛知県農業の振興・発展に貢献されました。その功績に改めて敬意を表しますとともに、心からお祝い申し上げます。

今後ますますのご健勝とご活躍をお祈りいたします。

◎ 全国農業委員会会長大会が開催されました

5月27日に東京都文京区の「文京シビックホール」において、一般社団法人全国農業会議所主催の令和元年度全国農業委員会会長大会が開催されました。

本県からは、川上愛知県農業会議会長、36市町農業委員会の会長・事務局長等総勢67名が参加しました。

二田全国農業会議所会長の開会挨拶、吉川農林水産大臣、衆議院の武藤農林水産委員長、参議院の堂故農林水産委員長から来賓挨拶がありました。

その後、全国農業協同組合中央会の中家会長の来賓挨拶、農業団体の来賓紹介がありました。

伊藤全国農業会議所事務局長から「経過・情勢と今後の取り組みの重点」について説明後、議事に入り、「人と農地対策を通じた地域の再生を目指した食料・農業・農村政策の強化に向けた政策提案決議」、「『地域の農地を活かし、担い手を応援す



【大会の様子】

る全国運動』を推進するための申し合わせ決議」、「『情報提供活動』の一層の強化に関する申し合わせ決議」及び「令和元年度全国農業委員会会長大会実行運動計画」の計4議案が提案され、満場拍手で決議されました。

農業委員会活動の実践を踏まえた決意表明を岐阜県高山市農業委員会の鴻巣会長、奈良県桜井市農業委員会の杉本会長及び佐賀県伊万里市農業委員会の山口会長が行いました。

最後に、要請決議等の実現に向け、片山岡山県農業会議会長の発声によりガンバロー三唱を行い閉会しました。

大会終了後、政府及び各党に対して決議事項の実現を求める要請行動が行われました。

本県では、川上農業会議会長及び各市町農業委員長等により愛知県選出の自由民主党国会議員に要請を行うとともに、意見交換会を開催しました。

藤川正人参議院議員始め12名の国会議員と2名の国会議員秘書

の方々の参加をいただき、活発な意見交換が行われました。これに併せて、各党の愛知県選出国会議員に要請を行いました。

また、大会の翌日は、千葉県香取市農業委員会を訪問し、香取市における農地利用の最適化の取組等について現地研修会を実施しました。

香取市農業委員会の伊藤 寛会長、愛知県農業会議の川上会長の挨拶に続き、(一社)千葉県農業会議の高岡 晃氏(前香取市農業委員会管理班長)から、香取市における農地利用の最適化に向けた取り組み、特に人・農地プランの策定に係るこれまでの様々な取組内容、法人化に向けた推進体制、人・農地プランの実質化に向けた対応など、具体例も踏まえて説明をいただきました。また、参加者からも活発な質疑がなされました。



【要請書を手渡す川上会長】



【香取市農業委員会伊藤会長】



【高岡 晃氏】

◎ 都道府県農業会議専務理事・事務局長会議が開催されました

5月9日、10日に東京都千代田区の「参議院会館」において、一般社団法人全国農業会議所主催の都道府県農業会議専務理事・事務局長会議が開催されました。

会議の開催にあたり、柚木全国農業会議所専務理事から、「全ての農業委員会において新体制への移行が完了し、農地利用の最適化の推進をより一層図る必要がある。また、今国会で審議されている農地中間管理事業法の改正については、4月23日に衆議院を通過し、今日から参議院で審議が始まる。農業委員会の果たすべき役割が明確化され、人・農地プランの実質化、話合いの場への参加が重要となってくる。農業委員会のあり方についても改正農業委員会法の5年後見直しがあるので、今年度の取組が評価の対象となってくる。実績を積み上げて対外的にもしっかりと公表していく必要がある。」との挨拶がありました。

協議事項として、①農業委員会組織・制度をめぐる情勢と今後の対応、②令和元年度全国農業委員会会長大会、③全国農業会議所各部の業務推進の重点事項、④情報事業の推進、⑤総務・経理関係の業務等について説明がありました。このうち、①では、業務推進の重点として、農地利用の最適化の取り組みの強化と農地情報公開システムの利用拡大、農業経営の基盤強化に向けた支援策の推進、新たな農業委員会制度の下での組織・活動体制の整備・強化等について説明がありました。また、②の令和元年度全国農業委員会会長大会については、大会運営、提出議案、申し合わせ決議等について協議を行いました。この他、③では「農地・組織対策」、「農政対策」、「経営・就農対策の推進」、「農業人材対策」、「全国農地ナビの現状と今後の取り組み」等について、また、④では「全国農業新聞・全国農業図書発行状況と普及強化」について説明がありました。

翌5月10日には、農業者年金関係が議題となりました。西恵正独立行政法人農業者年金基金理事長の挨拶の後、平成30年度の加入実績と年金資産の運用状況、事務処理遅延の防止、令和元年度の加入推進の取り組みについて説明がありました。

新規加入の目標については、若い農業者と女性農業者の加入推進に重点を置くこととされ、年度ごとの目標人数は全国3,800人(うち愛知県137人)とされています。平成30年度の新規加入者数は、全体で3,107人(うち愛知県32人)で前年度と比べて228人減(うち愛知県12人減)と目標を下回る状況となっており、より一層の加入推進活動について要請がされました。

◎ 全国農業委員会都市農政対策協議会専務理事・事務局長会議が開催されました

5月9日に東京都千代田区の「参議院会館」において、全国農業委員会都市農政対策協議会主催の専務理事・事務局長会議が開催されました。

砂田全国農業会議所農政・経営対策部長の挨拶に続き、農林水産省都市農村交流課

都市農業室の小林課長補佐から「都市農業をめぐる情勢について」と題して、都市農業の現状、都市農地政策の経緯、近年の都市農業をめぐる法整備の内容等について説明がありました。

説明の後、令和元年度通常総会提出議案として、平成30年度事業報告及び収支決算、令和元年度事業計画及び収支予算等について協議を行いました。

◎ 常設審議委員会（5月）の審議状況について

5月10日に「愛知県三の丸庁舎」において、農地法等に係る農業委員会からの諮問に対する答申を審議する常設審議委員会を開催しました。

5月の諮問は、12の農業委員会から農地法第5条に基づく転用事案18件、120,653㎡についてそれぞれ審議し、いずれも諮問のとおりで差し支えない旨承認されました。

（参考） 諮問農業委員会

江南市(1件)、小牧市(3件)、清須市(1件)、弥富市(1件)、大府市(1件)、岡崎市(3件)
安城市(3件)、西尾市(1件)、高浜市(1件)、豊田市(1件)、豊橋市(1件)、田原市(1件)

◎ 農業委員会会長・事務局長会議を開催しました

5月17日に「愛知県三の丸庁舎」において、農業委員会会長・事務局長会議を開催しました。

川上会長及び小林県農業振興課主幹の挨拶の後、協議報告事項に入りました。

農業会議事務局から、①農地利用の最適化の推進、②総務課、農政課の事務事業について説明しました。

協議報告後、研修事項として、一般社団法人全国農業会議所の柚木茂夫専務理事を講師にお招きし、「農業委員会組織をめぐる情勢と農地利用最適化の推進について」と題する講演会を開催しました。柚木専務理事からは、①農業・農政を巡る情勢と課題、②担い手への農地集積と遊休農地の発生防止・解消、③認定農業者等の担い手の経営確立と持続性の確保、④農業委員会組織の新体制移行と活動の強化など、他の都道府県での状況も交えた幅広い内容のお話をいただきました。



【講演する柚木専務理事】

◎ 愛知県4Hクラブ連絡協議会通常総会が開催されました

5月21日に「愛知県三の丸庁舎」において、愛知県4Hクラブ連絡協議会の令和元年度通常総会が開催されました。4Hクラブは、よりよい農村、よりよい日本を創るため四つの信条を掲げており、4Hは、Hands、Head、Heart、Healthを指しています。

総会では、平成30年度事業報告及び収支決算、令和元年度事業計画及び収支予算並びに役員改選の議案が提出され、全て原案どおり承認されました。

役員改選により、加藤大昌氏（尾張）が引き続き会長に選出されました。

◎ 愛知県農業会議の監事会が開催されました

5月22日に「愛知県三の丸庁舎」において、岡田監事による平成30年度の事務事業及び会計処理状況の監査が実施されました。

事務局から事務局体制、事務事業の実施状況、貸借対照表、正味財産増減計算書の内容などについて説明を行い、その後、預金通帳等関係書類の検査、確認を行っていただきました。

◎ 愛知県農村生活アドバイザー協会通常総会が開催されました

5月24日に名古屋市中村区の「キャッスルプラザ」において、愛知県農村生活アドバイザー協会の令和元年度通常総会が開催されました。

鬼頭弘子会長の挨拶後議事に入り、平成30年度事業報告及び収支決算、令和元年度事業計画及び収支予算などの議案が提出され、全て原案どおり承認されました。

また、議事終了後、退会者37名に感謝状が贈呈されました。

◎ 愛知県花き温室園芸組合連合会通常総会が開催されました

5月28日に名古屋市中区の「桜華会館」において、愛知県花き温室園芸組合連合会の第61回通常総会が開催されました。

中神会長から、「愛知県はこの60年間に花きの生産が全国一となり発展してきており、また、新技術、新発想そして行動力を持った若い後継者も増えてきている。新たな方向に牽引していくことを期待している。」旨の挨拶がありました。

議事に入り、平成30年度事業報告及び収支決算、令和元年度事業計画及び収支予算並びに役員を選任等の議案が提出され、全て原案どおり承認されました。

役員を選任により、愛知みなみ農協営農協議会の高瀬与志彦氏が新会長に選任されました。

◎ 愛知県耕作放棄地対策協議会通常総会が開催されました

5月31日に「愛知県庁西庁舎」において、愛知県耕作放棄地対策協議会（会長 農業会議事務局長）の令和元年度通常総会が開催されました。

平成30年度事業報告及び収支決算並びに令和元年度事業計画及び収支予算は、いずれも承認されました。平成30年度は、本協議会から九つの地域耕作放棄地対策協議会等に対し耕作放棄地再生利用交付金約2,463万円が交付されました。

平成21年度からの10年間で約4億3,800万円が活用され、約82haの耕作放棄地が新たに再生されています。

なお、この交付金を活用した事業は平成30年度までの実施であることから、当協議会としての事業は今年度が最後となります。

◎ 農地バンク5年後見直し、人・農地プランに係る説明会が開催されました

5月31日に「桜華会館」において、東海農政局主催による「農地バンク5年後見直し、人・農地プランに係る説明会」が開催され、東海三県の各県庁、市町村、農地中間管理機構、農業会議、土地改良事業団体連合会、JA中央会の関係者が出席しました。

農林水産省経営局の山北審議官から、「農地バンク5年後見直しでは、農地中間管理事業の手続きの簡素化等を行うとともに、農地の集積・集約を進めるため、人・農地プランの実質化による地域の話合いを推進していく。農業委員会など関係機関が一体となって問題解決に当たってほしい。」との挨拶がありました。

その後の説明会では、農林水産省の担当者から、改正農地バンク法(農地中間管理事業の推進に関する法律等の一部を改正する法律(令和元年5月24日公布))の概要の説明とともに、人・農地プランの具体的な進め方についてのたたき台が示され、人・農地プランの実質化の要件は、①アンケートの実施、②地図による現況把握、③中心経営体への農地の集約化に関する将来方針の作成の3点であることと、人・農地プランを作成する上での留意事項等について説明がありました。

◎ 今後の主な行事予定

- 6月 3日 理事会、常設審議委員会（県三の丸庁舎）
- 6月 5日 農業者年金担当者会議及び新任担当者研修会（JAあいちビル西館）
- 6月11日 愛知県国際農友会通常総会（名古屋栄東急REIホテル）
- 6月12日 農地事務担当者研修会（県三の丸庁舎）
- 6月14日 農業者年金5者協議（JAあいちビル）
- 6月14日 農地バンク5年後見直し推進総決起大会（東京都・JA共済ビル）
- 6月18日 通常総会、理事会、総会后研修（県三の丸庁舎）
- 7月 5日 人・農地プランの実質化と対応策に関する研修会(水産会館)
- 7月 8日 理事会、常設審議委員会（県三の丸庁舎）
- 7月10日 愛知県農地集積・集約化推進会議（県三の丸庁舎）
- 8月 1日 農地情報公開システム操作研修会（ウイंक愛知）※2日も開催